

1 地区の概況

大瀬川地区は、市の北西端に位置し、東は好地地区に、西は葛丸の山林を挟んで雫石町に、南は八日市地区に、北は紫波町に接するエリアで、南北に東北自動車道が通っているほか、県道盛岡和賀線が整備されており、交通量の多い地域です。

新緑や紅葉の景勝地として四季折々の自然を楽しむことができる「葛丸溪流」や「黒森山」、冬にその姿を現す大氷柱「たろし滝」などがあり、そのふもとは、葛丸川の恵みにより豊かな穀倉地帯が広がっています。

古くから青年会活動等が活発な地域で、昭和 25 年には、県下に先駆けて公民館が開設され、以後、公民館を中心とした様々な自治活動、生涯学習活動等が展開されています。

また、「神楽」や「さんさ踊り」、「奴踊り」、「田植え踊り」などの郷土芸能が脈々と受け継がれており、また、「田屋遺跡」や「大瀬川館」、「山祇神社」をはじめとする歴史的な史跡や名所を保有し、豊かな地域文化が継承されています。

2 地区ビジョン 【大瀬川地域づくり計画】

(1) 将来像

明るい農村

(2) 基本理念とスローガン

地域の資源を活かしたむらおこし

“おーい！集まろう！創ろう！みんなの大瀬川！”

(3) 基本計画

① 多様な交流

地域内の交流、地域外との交流を促進し、人との出会い、ふれ合い、異文化と接することで、大瀬川らしさ、自分らしさを追及するとともに、新しい文化、世界を創造し、自らの多様性を広げます。また、他との交流を積極的に受容し、地区内外の交流人口を増やします。

② 安全・安心な地域づくり

日常生活における安全・安心と、自ら進んで地域を守ることを基本姿勢に、自然災害、交通事故、犯罪等から地域住民を守るための活動を行います。

地域福祉は、児童から高齢者、障がい者まで幅広い分野であり、多くの課題を抱えています。健康で長生きし、援助ではなく共に支え合い、住み慣れた地域で、それぞれが生き甲斐を持って生活できるよう取り組みを行います。

③ 心豊かな人材の育成

地域づくりは“人づくり”と言われるように、地域の未来には、心豊かな人材の育成が重要です。この考えに基づき、大瀬川の未来を担う青少年の育成、指導者・リーダーの養成に取り組めます。

また、地域の貴重な財産である郷土芸能の後継者の育成に取り組めます。

④ 快適な環境の整備

私たちができるだけ不便を強いることなく、快適な日常生活を営み、安心して仕事ができるよう、施設整備、管理体制、住民意識などあらゆる面から生活環境の整備に取り組めます。

また、地域の美しい景観は、貴重な資源・宝であるとの認識に基づき、地域住民の手によって景観の保全につとめます。

